



体験型の授業を 広げていきたい

大学院ソシオテクノサイエンス研究部情報ソリューション部門
知識情報処理大講座 講師
佐藤 克也 (さとう かつや)

今回紹介する佐藤先生の今年の授業は、取材の段階ではまだ始まっていませんでした(6月開始)ので、概要を紹介します。

大学院先端技術科学教育部環境創生工学専攻エコシステム工学コースの学生を対象に、座学だけでなく体験型学外実習を取り入れる授業をめざした講義は、同コース教育担当の上月康則(こうつきやすのり)教授を中心としたWGが3年前に立ち上げられ、先生5名が上勝町(勝浦郡)の視察を行うことから始まりました。学生たちにとって、一次産業の体験はエコ(環境)問題を考える上で、また地域の人々とのふれあいや、ボランティア活動は、教室では得られない大きな経験になると考えました。

そのステージとして選ばれたのが「千年の森・県民参加の森づくり活動」です。
千年の森の事業は、上勝町の丸山千年の森を中心に、平成16年

から地域のボランティアグループが苗木の植樹を始めて、その育成のために草刈り作業などを行い、体験活動の企画・運営と、体験活動を担う人材育成をテーマに活動しています。

佐藤先生たちは一昨年には学生も交えて現地に出かけ、草刈りをしたりアンケート調査などを行いました。昨年には上勝町から関係者を招いて内容を検討、改良し、教育として、授業としてのプログラムが整ってきました。そういう意味では、今年が本格的なスタートと言えるかもしれません。

佐藤先生は2009年に徳島大学に赴任してすぐこのWGに参加して、去年からとりまとめ役を任せられています。

「前もって学生に課題を与えておくことで、自分の専門分野の研究と絡ませられるようにしたり、千年の森のスタッフの前で学外実習の成果を発表させるなど、試行錯誤

誤をくり返ししながら、なんとか学外実習を含む演習としての形が整ってきましたので、今年からはそれらを土台にしてやっていきます」また今後の目標として、

「今は手探りですが、このような学外実習を組み込んだ授業を、エコシステム工学コースだけでなく工学部、ひいては大学全体に向けて、それぞれの専門コースで何が出来たのか、何を生かしていくのか、そういうことを学ばせるカリキュラムのひな形として作り上げていけたらと考えていますし、大学としても対外的にアピールできるのではないのでしょうか」と語る佐藤先生。専門は生体医学で、骨を作る細胞が力などを感じる機構の研究をしています。

「学生の授業だけでなく、研究の分野でも、他の先生方とアイデアや情報を共有しながら進めていきたいですね」



大学には、学生が卒業してすぐに社会の即戦力になれるように、また就職活動を支援するための活動の一つとしてインターンシップがあります。これは学生が企業の中で研修生として働く、いわば社会体験です。

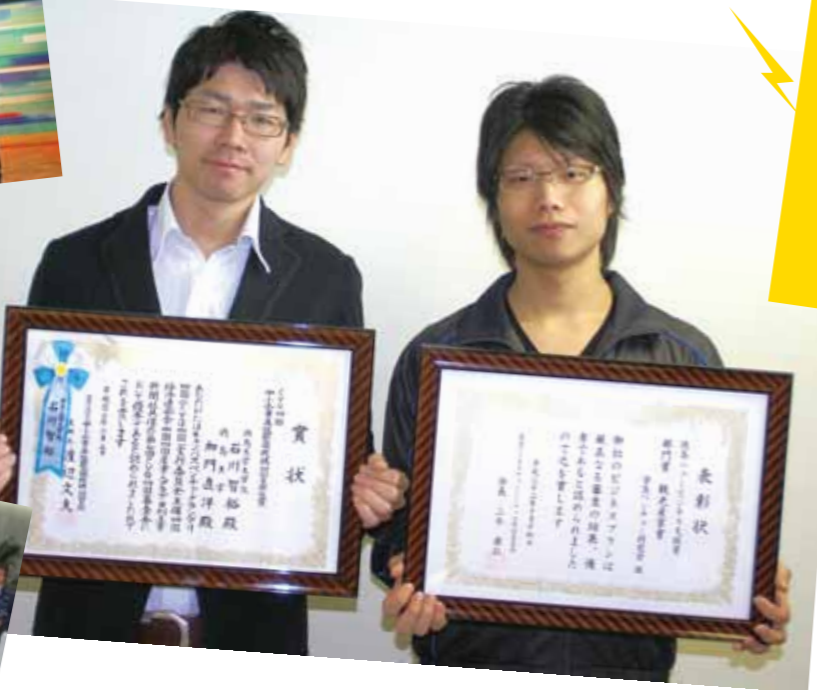
加門さんも原さんもこの制度を通じて社団法人徳島ニュービジネス協議会(以下TNBCと略)によるインターンシッププログラムを知って参加しました。そしてそこで得た経済に関する知識を実践するため、「キャンパスベンチャーグランプリ(以下CVGと略 四国)」に挑戦しました。CVG四国は、四国の大学(院)・短大・専門学校等に在籍する学生によって、新商品や事業のアイデア、新規事業の内容などを競うコンテストです。競技だけでなく、産業界や支援事業者とのふれあいの機会を創り出すことにより、新産業の創造と人材育成を目指して「CVG四国実行委員会」が主催し、日本工業新聞社などの協賛で開催されています。

徳大生 大活躍!

「取材」

(右) 原 宏輔 (はら こうすけ)
先端技術科学教育部知的力学システム工学専攻
機械創造システム工学コース 博士前期課程1年

(左) 加門 直洋 (かもん なおひろ)
先端技術科学教育部システム創生工学専攻
光システム工学コース 博士前期課程2年



加門さんは「第7回CVG四国(2009年)」で、「乗合いタクシー」を利用した観光ツアー」で「中小企業基盤整備機構四国支部長賞」を、翌年の「第8回CVG四国(2010年)」では「iPhone・iPadアプリをもちいた観光地戦略」で「特別賞日刊工業新聞社賞」と、2年連続の受賞となりました。

原さんも昨年の同コンテストで「子育てお役立ち情報配信」で「四国産業人クラブ賞」を、さらに「遠心型血液ポンプを用いた生体循環シミュレータ」の研究・開発で、同年の「徳島大学工業会賞」も受賞しました。

加門さんはTNBCが主催する「徳島ビジネスチャレンジメッセ2010」で開催された「アントレプレナープログラム/本気で会社ゲーム」という中高生を対象とした模擬の株式会社を設立・運営しながら、資本主義社会の経済活動について学ぶプログラムの運営に携わり、また、同社が主催するビジネスコンテストでも「徳島ニ



ュービジネス支援賞」の部門賞を受賞。すでに某大手通信会社に就職内定を得ており、現在はTNBCが、学生や一般の人を対象に、ビジネスアイデアを支援するために運営する「エッグルーム(徳島市東船場町 阿波銀住友生命ビル8)」で「学生ベンチャー研究会」を任されています。

「毎週水曜日夜8時ごろからビジネスプランを考えたりなどの活動をしています。インターンシップに興味があれば気軽に訪ねて下さい。私は技術系ですが、経済や経営、サービスのことなど幅広く身に付けておくことは、どんな仕事にもきつと役立ちます」

「就職するにしても、また自分が起業する場合でも、会社の経営状態がわかるということは大事です。ここでは学校で学べないことがたくさん学べます」と呼びかけています。